

地域活動団体紹介

～ 森の楽器の会 (ベルフォレ) ～最上町

当会は『森の楽器』に魅せられた仲間たちによって平成27年度に結成されました。森の楽器は、最上町の間伐材を活用して製作された創作弦楽器のことで、毎年高知県から泉谷貴彦氏（木と音の会 代表）をお招きし、平日放課後に小学生希望者を対象とした演奏ワークショップを開催したり、オファーがあれば各イベントにも出演しながら演奏活動を展開しています。今年は枯死した日本一の大アカマツが伐採されました。私たちはその貴重な材を活用し楽器に生まれ変わらせる準備を進めています。今後も地域に誇りや愛着を持てる子どもが育成されることを願い、町の魅力というものを様々な形で伝えていきたいと思ひます。



《講師》
泉谷 貴彦 氏

《会 員》 菅 あかり 菅原奈穂美 横山恵美子

山口由美子 中嶋より子 大沼弘太郎 遠藤 真一



～活動の記録・感想～

6～8月 放課後演奏ワークショップ



公募により参加した小学生 11名を対象に、毎週月曜放課後に演奏ワークショップを開催。珍しい楽器で楽しく演奏し、最後は保護者・関係者らの前で堂々とその成果を披露しました。

9/17 最上町敬老会で生演奏



表彰時のBGM担当を依頼され、講師不在ではありましたが猛練習の末出演。木の音色が会場の雰囲気にもマッチし、皆納得のいく演奏ができたことで大きな自信へとつながりました。

日本一の大アカマツを楽器に



枯死した日本一の大アカマツの伐採材を活用した楽器製作計画が進行中。まだ乾燥段階ですが、子どもたちの手に弾かれ再び音色を響かせる日がやってきます。(今年度末に完成予定)